

平成27年度 建設局 運営方針

一般府道上黒田貴船線（左京区鞍馬本町）



京都駅南口駅前広場 整備イメージ



市民と協働 イメージ



～建設局からのメッセージ～

平成25年の台風18号や昨年8月の豪雨など、近年多発している甚大な被害を及ぼす自然災害や、いつ来てもおかしくない大地震への備えとして、道路・橋りょう・河川・公園などの防災機能を強化する取組を充実させます。

一方、魅力的なまちなみを創出し、都市の品格を高め、持続的な成長につなげるよう、社会基盤の整備を進めます。

また、公共土木施設の維持管理については、市民の皆さんとの協働の仕組みを取り入れるとともに、損傷が激しくなってから対応する「事後保全型」から、損傷が軽微なうちに早期対策を行う「予防保全型」への転換を進め、効率的・効果的な維持管理を行います。

【重点方針】

- 1 いのちと暮らしを守る防災・減災対策の充実・強化
- 2 「歩くまち・京都」を基軸とする都市基盤の強化とまちの魅力向上による京都の創生・成長戦略の推進
- 3 市民協働の取組を通じた公共土木施設の効率的な維持管理の推進

目 次

○重点方針

- 1 いのちと暮らしを守る防災・減災対策の充実・強化・・・・・・・・・・ P 1
 - 2 「歩くまち・京都」を基軸とする都市基盤の強化とまちの魅力向上
による京都の創生・成長戦略の推進・・・・・・・・・・ P 4
 - 3 市民協働の取組を通じた公共土木施設の効率的な維持管理の推進・・・・・・・・ P 10
- 効率的かつ適切に施策を推進するための取組・・・・・・・・・・ P 12
- 予算のポイント・・・・・・・・・・ P 12
- 建設局運営の総括表・・・・・・・・・・ P 13

○重点方針

[建設局運営方針の取組構成]

重点方針 1

いのちと暮らしを守る防災・減災対策の充実・強化

取組 1 道路の通行機能の確保

- ★ 橋りょうの耐震補強・老朽化修繕
- ★ 道路に面する斜面等の防災対策

取組 2 浸水被害の予防対策の強化

- ★ 河川の整備
- ★ 有栖川下流右岸流域の浸水対策事業
- ★ 排水機場の耐震改修・老朽化修繕
- ★ 排水機場集中監視システムの整備

重点方針 2

「歩くまち・京都」を基軸とする都市基盤の強化とまちの魅力向上による京都の創生・成長戦略の推進

取組 3 歩いて楽しいまちづくり

- ★ 人と公共交通優先の歩いて楽しい四条通の整備
- ★ 京都駅南口駅前広場の整備
- ★ 「歩いて楽しい東大路」歩行空間創出事業
- ★ 歩いて楽しいまちなかゾーンの推進
- ★ 総合的な自転車政策の推進

取組 4 京都ならではの魅力の向上

- ★ 岡崎公園・神宮道の一体的な整備（岡崎地域活性化ビジョンの推進）
- ★ 名勝円山公園の保存管理計画と適正化事業
- ★ 緑のネットワークの推進
- ★ 無電柱化の推進
- ★ 道路・公園照明灯のLED化事業

取組 5 都市の活力を高める都市基盤の整備

- ★ 幹線道路ネットワークの整備
- ★ 公園の整備
- ★ JR嵯峨野線の新駅設置（京都駅西部エリア活性化将来構想）、JR奈良線高速化・複線化及び阪急京都線連続立体交差化の推進
- ★ 土地区画整理事業の推進

重点方針 3

市民協働の取組を通じた公共土木施設の効率的な維持管理の推進

取組 6 効率的・効果的な公共土木施設のマネジメント

- ★ 公共土木施設マネジメントの推進
- ★ 道路・橋りょう・河川・公園などの適切な維持管理

取組 1 道路の通行機能の確保

★ 橋りょうの耐震補強・老朽化修繕

所管：橋りょう健全推進課、道路建設課
各土木事務所

平成 27 年度事業費
40 億 8,732 万円

事業目的：災害時における避難ルートや道路ネットワークの確保を図ります。

「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」に基づき、部材を追加し地震に対して強くしたり、鋼材の塗装を塗り替える修繕を行うなど、平成 24～28 年度の 5 年間に 51 橋の対策完了を目標に取り組んでいます。平成 26 年度末で、51 橋中 20 橋の対策が完了し、平成 27 年度は 25 橋の対策に取り組みます。



対策前



対策後

高欄を取り替え、安全性を高めました。

鋼材の塗装を塗り替えました。

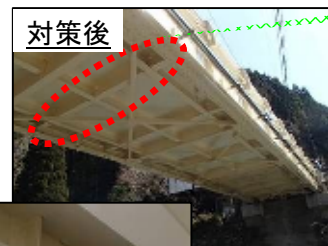
落橋を防ぐ装置を取り付け、耐震性を向上させました。

上鳥羽橋（平成 26 年 6 月 対策完了）

（南区上鳥羽川端町 府道中山稲荷線上の西高瀬川に架かる橋りょう）



対策前



対策後

鋼部材を追加し強度を高めました。

平成 27 年度 取組

- ・耐震補強 12 橋（九条跨線橋、羽束師橋など）
- ・老朽化修繕 13 橋（二条大橋、菊屋橋など）

平成 26 年度 実績

- ・耐震補強（御池大橋、九条跨線橋など）
- ・老朽化修繕（京川橋、丹波橋など）

鋼材の塗装を塗り替えました。

開花橋（平成 26 年 3 月 対策完了）

（左京区花脊大布施町 国道 477 号上の上桂川に架かる橋りょう）

★ 道路に面する斜面等の防災対策

所管：土木管理課、各土木事務所

平成 27 年度事業費
5 億 6,662 万円

事業目的：災害時における緊急車両等の通行を確保します。

災害発生時の緊急輸送を確実にを行うとともに、平常時においても市民生活を守るため、道路に面する斜面からの落石や土砂崩れなどを防ぐ工事を効率的・効果的に進めます。これまでに、対策を必要とする 560 箇所のうち、141 箇所について工事を完了し、平成 27 年度は 25 箇所の対策に取り組めます。

平成 27 年度 取組

- ・国道 162 号（14 箇所 測量設計，用地，工事）
- ・国道 367 号（5 箇所 測量設計，用地，工事）
- ・上黒田貴船線他（6 箇所 測量設計，工事）

平成 26 年度 実績

- ・国道 367 号（1 箇所 工事）
- ・醍醐大津線他（工事）



対策前



対策後

一般国道 367 号（平成 27 年 3 月 対策完了）

（左京区八瀬花尻町）

取組 2 浸水被害の予防対策の強化

★ 河川の整備 所管：河川整備課，各土木事務所

平成 27 年度事業
13 億 1,550 万円

事業目的：河川断面を拡げるなどの改修を行うことにより，浸水被害の軽減を図ります。

市民生活の安心・安全の根幹となる治水を前提とした，川づくり・水辺づくりを進めるため，河川の幅を拡げる工事や新たに地下水路を整備する工事，及び「普通河川整備プログラム」に基づき，過去に浸水被害が発生した河川のうち，まだ本格的に対策に着手できていない 8 つの河川を対象に，水路の壁をかさ上げするなどにより，浸水被害を防ぐ対策を進めます。

平成 27 年度 取組

- ・都市基盤河川整備（旧安祥寺川，新川整備工事など）
- ・普通河川整備（宮川，杉坂川護岸工事）

「普通河川整備プログラム」による整備

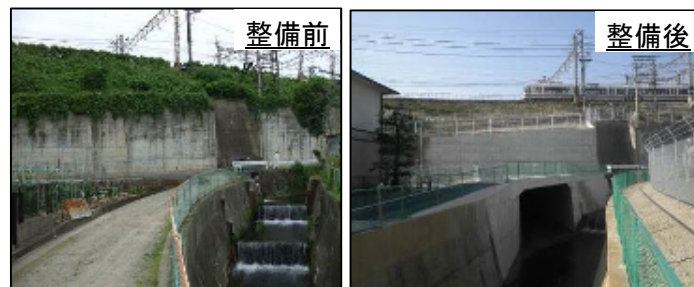
- ・護岸改修工事（竹田川）
- ・設計等（泉川，奥殿川，西ノ川，千代原川）

平成 26 年度 実績

- ・都市基盤河川整備（旧安祥寺川，新川の整備工事など）
- ・普通河川整備（第二太田川調整池整備など）

「普通河川整備プログラム」による整備

- ・局所的な対策（宇多川支川，荒木川，谷田川）
- ・設計等（竹田川，泉川，西ノ川，千代原川）



旧安祥寺川改修（山科区御陵荒巻町）



荒木川（平成 27 年 3 月 対策完了）（西京区川島権田町）

- ・都市基盤河川とは，京都府で管理する一級河川のうち，本市で整備などをする河川（一級河川，二級河川の整備や維持管理は国又は都道府県が行うこととされています。）
- ・普通河川とは，一級河川，二級河川，準用河川以外の河川（本市は 291 の普通河川を管理しています。）

★ 有栖川下流右岸流域の浸水対策事業

所管：河川整備課

平成 27 年度事業費
1 億 3,600 万円

事業目的：梅津都市下水路と有栖川の合流地点にポンプ施設を整備することにより，浸水被害の軽減を図ります。

平成 25 年の台風 18 号の大雨により，桂川の水位が大きく上昇したため，梅津地域の有栖川に流れ込む梅津都市下水路から水があふれ，大きな浸水被害が発生しました。このため，今後同様の気象状況が発生した場合でも浸水を防ぐため，ポンプ施設を整備します。

平成 27 年度 取組

- ・台風時期である 9 月からの供用開始を目指して排水ポンプ施設を整備（排水ポンプ能力 $1\text{m}^3/\text{s}=1$ 秒間に 200L のお風呂 5 杯分を排水ができる。）

平成 26 年度 実績

- ・水路等の現況調査等を実施し，排水ポンプ施設を設置する浸水対策を立案



★ 排水機場の耐震改修・老朽化修繕

所管：河川整備課

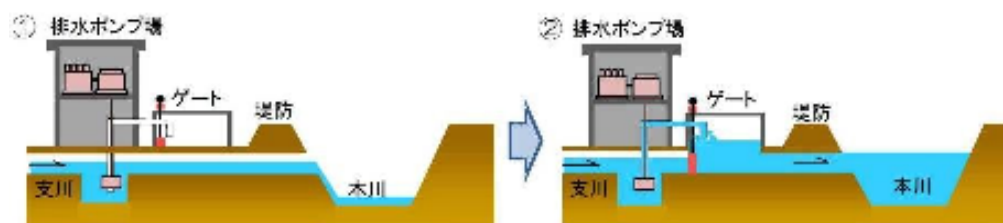
平成 27 年度事業費
4 億 2,810 万円

事業目的：大雨による浸水を防止し、市民の命とくらしを守ります。

排水機場は大きな河川が増水した時に、そこに流れ込む小さな河川の水をポンプにより大きな河川に流し、街を浸水から守る重要な施設です。

市民のいのちと暮らしを守るため、大きな地震にも耐えられるよう改修を行うとともに、老朽化した機器の更新や整備を計画的に進めます。

【排水機場の役割】



通常、市内を流れる支川の水は、本川などに流れます。

大雨が降り、本川の水位が上がれば、支川へ逆流するため、ゲートを閉じ、支川の水をポンプで流します。

平成 27 年度 取組

- ・耐震改修（三栖排水機場）
- ・老朽化修繕（西羽東師排水機場ほか6排水機場）
- ・排水機場長寿命化修繕計画 策定

平成 26 年度 実績

- ・耐震改修（淀排水機場）
- ・老朽化修繕（西羽東師排水機場ほか7排水機場）

排水機場 位置図



★ 排水機場集中監視システムの整備

所管：河川整備課

総事業費
6 億 3,500 万円

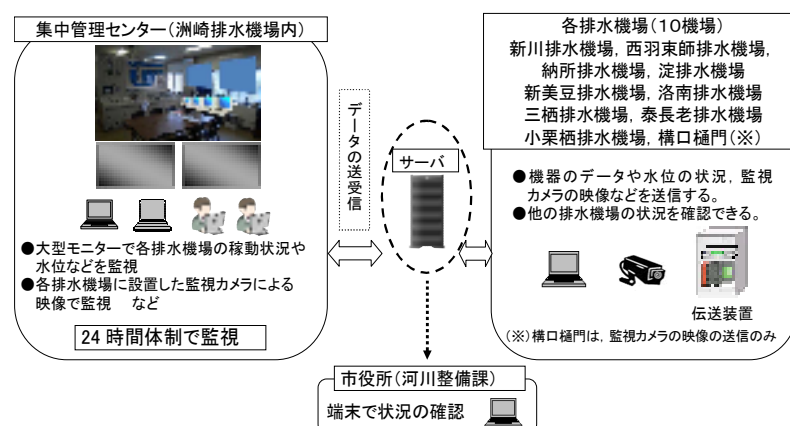
事業目的：排水機場の稼動状況や水位情報などを一元的に監視することにより、排水機場の安全性をより一層高めます。

局地的な集中豪雨（ゲリラ豪雨）による急激な水位の上昇などの突発的な状況に対応し、市民の生命や財産を浸水被害から守るため、主要な排水機場を24時間体制で、集中監視できるシステムの整備を進めます。

監視システム イメージ

平成 27 年度 取組

- ・排水機場集中監視システムの整備



取組3 歩いて楽しいまちづくり

★人と公共交通優先の歩いて楽しい四条通の整備

所管：道路環境整備課

総事業費
約 29 億円

事業目的：四条通が歩きやすくなるとともに、バスを待つスペースが広がり、乗降しやすくなります。

四条通（四条大橋東詰～烏丸通）において、車線を4車線から2車線に減らし、歩道を広げるとともに、バス停を4か所に集約し、バスを待つスペースを広げるなど、公共交通を使いやすく、安心・安全でゆったり歩け、賑わいあふれるまちづくりを進めます。

平成27年度 取組

- ・歩道拡幅工事の完了（平成27年10月末完成予定）

平成26年度 実績

- ・工事（平成26年11月～）

歩道が広がります。



★ 京都駅南口駅前広場の整備

所管：道路建設課

総事業費
約 45 億 6,000 万円

事業目的：バス等の公共交通への乗継ぎがしやすくなり、便利で快適な駅前広場になります。

京都駅南口において、ゆったり歩けるよう歩行空間を広げ、また雨に濡れずスムーズに乗り換えができるようバス停の集約や屋根を設けるなど、より一層使いやすく、人にやさしい京都の「玄関口」としてふさわしい駅前広場の整備を進めます。

平成27年度 取組

- ・駅前広場整備工事（駅正面の拠点広場デッキなど）
- ・八条通道路工事（油小路通～竹田街道）

平成26年度 実績

- ・京都初となる機械式地下駐輪場3基 完成（八条西洞院付近2基、アバンティ前1基）
- ・駅前広場整備工事



★「歩いて楽しい東大路」歩行空間創出事業

所管：建設企画課

平成27年度事業費
1,050 万円

事業目的：歩行者が安心・安全、そして快適に通行できる空間になります。

歩道が狭く、また、段差が大きい箇所や勾配が急な箇所がある東大路通の東山三条～東福寺間について、歩行者が安心・安全、そして快適に通行することができるよう、検討を進めます。

平成27年度 取組

- ・周辺道路への影響を検証する



★ 歩いて楽しいまちなかゾーンの推進

所管：道路環境整備課
自転車政策推進室

平成 27 年度事業費
3,353 万円

事業目的：都心部の細街路に安全でゆとりある歩行空間を創出します。

都心部の生活道路では、新しく歩道を作ることができないため、歩行者と自転車の通行区分をカラーラインで示す明示や、看板の設置などにより、歩行者と自転車の走行ルールを示すなどして、安全な歩行空間となる取組を進めます。

平成 27 年度 取組

- ・高辻通、河原町通、五条通、烏丸通に囲まれたゾーンの整備

平成 26 年度 実績

- ・御池通、河原町通、四条通、烏丸通に囲まれたゾーンが完成
- ・六角通、蛸薬師通で実施（烏丸通～堀川通）
- ・四条通、河原町通、高辻通、烏丸通、に囲まれたゾーンで工事

対策前



対策後



カラーラインの設置

三条富小路付近（平成 27 年 3 月 対策完了）

★総合的な自転車政策の推進

所管：自転車政策推進室

平成 27 年度事業
4 億 3,555 万円

事業目的：安心して自転車を利用でき、歩行者にも安全なまちづくりを進めます。

「みえる化」をキーワードに、自転車走行環境の整備、ルール・マナーの周知徹底等の総合的な自転車政策の推進に取り組みます。

平成 27 年度 取組

- ・「京都・新自転車計画」に基づく施策の推進
- ・市役所前広場における機械式地下駐輪場 完成
- ・放置自転車に係る撤去強化区域の拡大（市街地のほとんどを撤去強化区域に）

平成 26 年度 実績

- ・「京都・新自転車計画」の策定
- ・京都市自転車安全利用推進企業制度の創設



昨年 6 月開催の

自転車マナーアップフェスタ in 京都



取組 4 京都ならではの魅力の向上

★ 岡崎公園・神宮道の一体的な整備（岡崎地域活性化ビジョンの推進）

所管：みどり政策推進室

平成 27 年度事業費
2 億 8,539 万円

事業目的：岡崎地域の魅力が向上し、多くの人が快適に過ごすことができます。

左京区岡崎のメインストリートである神宮道（冷泉通～二条通）を公園の園路として歩行者専用にし、併せて公園を岡崎の核となるように整備することで、多くの人が集い、ゆったり過ごせる公園に生まれ変わります。

平成 27 年度 取組

- ・平成 27 年 8 月末完成に向け公園整備、道路整備を実施

平成 26 年度 実績

- ・公園、周辺道路整備に係る設計、公園、道路工事



イメージ

★ 名勝円山公園の保存管理計画と適正化事業

所管：みどり政策推進室

平成 27 年度事業費
1,230 万円

事業目的：多くの市民や観光客の方々に親しんでいただける、魅力ある円山公園となります。

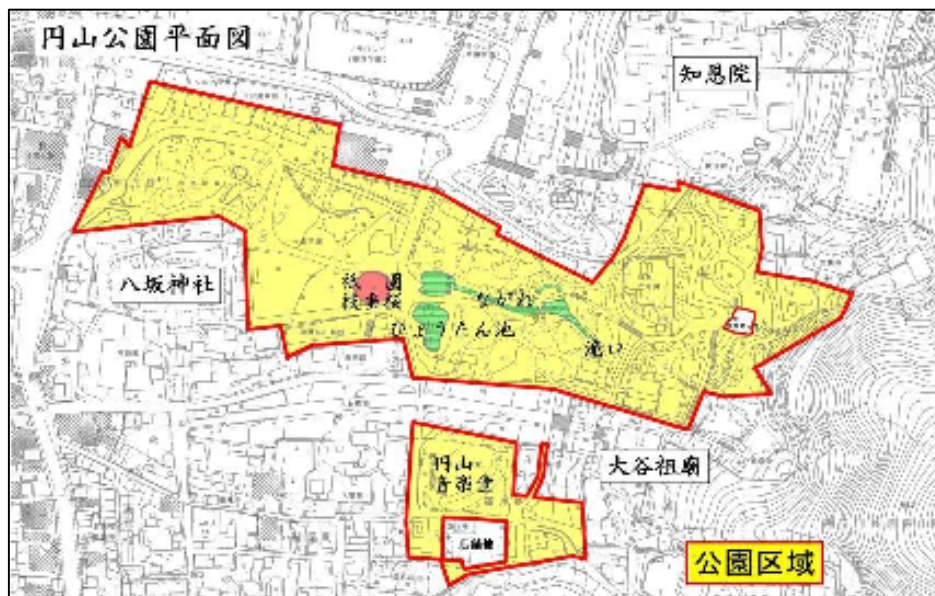
開園から 130 年を迎える円山公園について、平成 32 年に開催される東京オリンピック・パラリンピック等により増加が予想される観光客を「おもてなし」するため、再整備（修復）を行うための保存管理計画を策定し、それに合わせて、園内施設の実態調査を進めるとともに、老朽化した施設の修繕や建替え等を促進します。

平成 27 年度 取組

- ・名勝円山公園保存管理計画策定（策定のための委員会 3 回実施）
- ・円山公園内施設の実態調査

平成 26 年度 実績

- ・名勝円山公園保存管理計画の策定に向けた検討（策定のための委員会 2 回実施）



祇園枝垂桜（春）



ひょうたん池（夏）



ひょうたん池（秋）



祇園枝垂桜（冬）

★ 緑のネットワークの推進

所管：みどり政策推進室

平成 27 年度事業費
5 億 6,633 万円

事業目的：緑豊かなうるおいのある生活環境を実現します。

道路などから見える緑を増やし、うるおいのあるまちなみを創るため、街路樹の植栽や植替え、まちなかに花を増やすなど、市民や事業者、行政などが協働で緑の「量」と「質」を向上させる取組を進めます。

道路の森づくり



花の道づくり



桜景観創造プロジェクト



平成 27 年度 取組

- ・道路の森づくり (北大路通, 今出川通, 東大路通, 九条通の中央分離帯にケヤキ等を植樹)
- ・花の道づくり (三条通, 外環状線, 国道 162 号 (京北), 桂川街道などの歩道に花木を植栽)
- ・桜景観創造プロジェクト (白川疏水通などでサクラを更新)
- ・ケヤキ並木保全・創造プロジェクト (白川通などで老朽化したケヤキの樹勢回復や更新)
- ・紅葉景観創造事業 (西大路通のスズカケノキを紅葉街路樹 (トウカエデ) に樹種転換)
- ・市民公募型緑化推進事業 (平成 25 年度実施の市民意見公募結果をもとに緑化整備工事を実施)

ケヤキ並木保全・創造プロジェクト



平成 26 年度 実績

- ・道路の森づくり (西大路通, 北山通, 他 1 路線でケヤキ等 160 本植栽)
- ・花の道づくり (七条通で高木 44 本, 紫明通及び新城南宮道で低木約 2 万株植栽)
- ・桜景観創造プロジェクト (樹勢診断調査を実施し, その結果に基づき, 琵琶湖疏水沿い (冷泉通, 疏水浜通, 仁王門通), 他 4 路線で, 樹勢の衰退した 79 本の更新実施)
- ・ケヤキ並木保全・創造プロジェクト (白川通, 堀川通他 3 路線で更新 30 本及び樹勢回復処置を実施)
- ・紅葉景観創造事業 (東大路通で 71 本, 西大路通で 129 本のスズカケノキをイチョウ, トウカエデに樹種転換)
- ・市民公募型緑化推進事業 (小栗栖石田線 (伏見区) の道路斜面等において緑化工事を実施)

市民公募型緑化推進事業



はなぶさ保育園の園児により実施

(小栗栖石田線 (伏見区))

★ 無電柱化の推進

所管：道路環境整備課

平成 27 年度事業費
3 億 2,590 万円

事業目的：歴史都市京都の景観を向上させ、安全で快適な通行空間を確保します。

歴史都市京都にふさわしい観光名所等における都市景観の向上を図るため、景観の保全・再生が必要な地域において電線類を地下に埋め、電柱を撤去する無電柱化を推進します。これにより、地震等で電柱が倒れることがなくなり、防災機能も向上します。

平成 27 年度 取組

- ・先斗町通の実施設計, 油小路通 (小川通) の工事 (継続)
- ・銀閣寺道の工事 (継続), 長辻通の実施設計
- ・新たな方式による無電柱化事業の研究

平成 26 年度 実績

- ・油小路通 (小川通) の工事 (継続), 銀閣寺道の工事開始
- ・長辻通の予備設計
- ・三条通 (河原町通～鴨川間) の予備設計

景観を阻害している
電線類



★ 道路・公園照明灯のLED化事業

所管：土木管理課、各土木事務所
みどり政策推進室、各みどり管理事務所

平成27年度事業費
18億406万円

事業目的：従来品よりCO₂排出量を抑え、経費を節減します。

LED照明灯は価格の低下と性能の向上が進み、従来の照明灯と比較して、節電と維持管理費のコスト削減を図ることができるため、既存の道路・公園照明灯をLED照明灯へ交換していきます。

LED道路照明灯 実施事例

平成27年度 取組

- ・公園照明灯 水銀灯及び蛍光灯約1,000灯
(平成27～29年度でLED化)
- ・市街灯(蛍光灯)新設800灯,更新19,870灯
(平成28年度中にLED化)
- ・道路照明灯(水銀灯)新設50灯,更新9,000灯
(平成27年度中にLED化)

平成26年度 実績

- ・市街灯(蛍光灯)22,860灯をLED化
- ・道路照明灯(水銀灯)1,000灯をLED化



(西京区大枝西長町)

取組5 都市の活力を高める都市基盤の整備

★ 幹線道路ネットワークの整備

所管：道路建設課

平成27年度事業費
15億8,035万円

事業目的：安心・安全で、快適な移動ができ、また、災害時の輸送ルートを確認します。

幹線道路は、人の移動や産業活動、災害時の緊急輸送等に欠かせない道路であり、まだまだ整備は不十分な状況です。市街地と山間地域を結ぶ道路整備をはじめ、安心・安全で快適に移動できる幹線道路ネットワークの整備を進めます。

平成27年度 取組

- ・鴨川東岸線(第二工区)(橋りょう新設工事など)
- ・本町下高松通(高松橋架替え工事など)
- ・北泉通(用地買収など)
- ・京都広河原美山線(鞍馬北工区)(道路改良工事)
- ・一般国道162号(高雄地区)(道路改良工事など)

平成26年度 実績

- ・京都広河原美山線(二ノ瀬バイパス) 供用
- ・梅津太秦線(丸太町通～府道花園停車場広隆寺線) 供用
- ・羽束師橋関連道路(桂川右岸堤防) 供用



整備前



整備後

二ノ瀬バイパス(平成27年3月 整備完了)
(左京区静市野中町～鞍馬本町)

★ 公園の整備

所管：みどり政策推進室

平成27年度事業費
2億3,014万円

事業目的：市民に安心・安全で快適なレクリエーションの場を提供します。

市民に憩いの場や、スポーツ・レクリエーションの空間を提供するため、市民参加によるワークショップを開催するなど、市民ニーズに合った公園の整備を進めます。

平成27年度 取組

- ・洛北第三地区4号公園(仮称)の新設工事
- ・桃山東第二地区和泉ポンプ場公園(仮称)の測量,設計
- ・本町公園再整備に係る測量,設計

平成26年度 実績

- ・梅津フケノ川公園新設整備
- ・岩倉中河原公園新設整備
- ・柳の内公園再整備



整備前



整備後

梅津フケノ川公園(平成27年3月 整備完了)
(右京区梅津フケノ川町)

★ JR嵯峨野線の新駅設置（京都駅西部エリア活性化将来構想）， JR奈良線高速化・複線化及び阪急京都線連続立体交差化の推進

所管：道路建設課，みどり政策推進室，建設企画課

平成27年度事業費
38億2,900万円

事業目的：○新駅設置や鉄道複線化により，地域を活性化させ，また鉄道が利用しやすく
便利になります。

○道路と鉄道の立体交差化により，踏切が無くなり，交通渋滞が解消します。

京都駅西部エリアの中心部にJR嵯峨野線の新駅を設置することにより，新たな人の流れをつくり，地域の活性化を図ります。

また，京都市と京都府南部地域を結ぶJR奈良線を高速化・複線化することにより，通勤・通学等の利便性の向上を図ります。

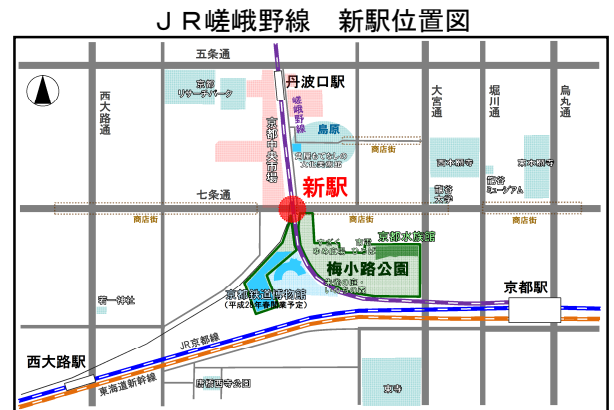
更に，阪急京都線連続立体交差化により，踏切を無くすことで，道路交通の円滑化と安全性の向上を図ります。

平成27年度 取組

- ・JR嵯峨野線 京都・丹波口間新駅設置に伴う周辺整備事業（調査，測量）
- ・JR奈良線 高速化・複線化第二期事業（JR西日本に補助金を交付，設計）
- ・阪急京都線連続立体交差化事業（下り線高架橋工事，鉄道高架化完了）

平成26年度 実績

- ・阪急京都線連続立体交差化事業（下り線高架橋工事）



★ 土地区画整理事業の推進 所管：市街地整備課，整備推進課，南部区画整理事務所

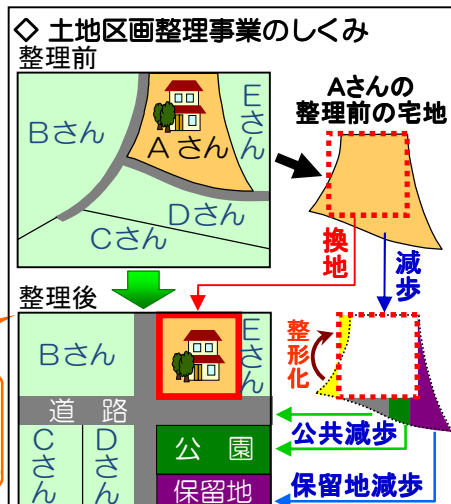
平成27年度事業費
13億5,112万円

事業目的：面的に都市基盤を整備し，安全で良好な市街地を形成します。

土地区画整理事業は，道路，公園，水路等の公共施設を面的・一体的に整備改善すると同時に，土地を整形化し，再配置する事業です。上鳥羽南部地区，伏見西部第三，第四，第五地区において事業を継続し，住みよく，災害にも強いまちづくりを進めます。

平成27年度 取組（継続）

- ・上鳥羽南部地区（公共施設引継，出来形確認測量）
- ・伏見西部第三，第四，第五地区（移転補償，道路・水路工事等）



【用語解説】

- 換地：(Aさんの) 整理後の宅地
- 公共減歩：道路や公園等の用地となる
- 保留地減歩：売却して事業費の一部に充てる

土地区画整理事業を

施行していない場所

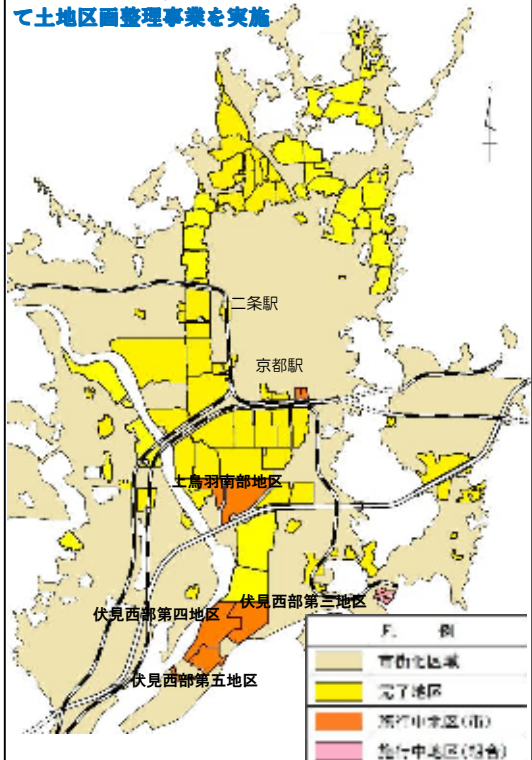


施行した場所



土地区画整理事業施行位置図

市街化区域の4分の1以上において土地区画整理事業を実施



取組6 効率的・効果的な公共土木施設のマネジメント

★ 公共土木施設マネジメントの推進

所管：建設企画課、土木管理課、橋りょう健全推進課、河川整備課、道路河川管理課、みどり政策推進室

事業目的：安心・安全な市民生活を守るための事業を着実に実施します。

道路、河川、公園などの公共土木施設を総合的に捉え、効率性と効果を考えながら事業の優先順位を検討します。

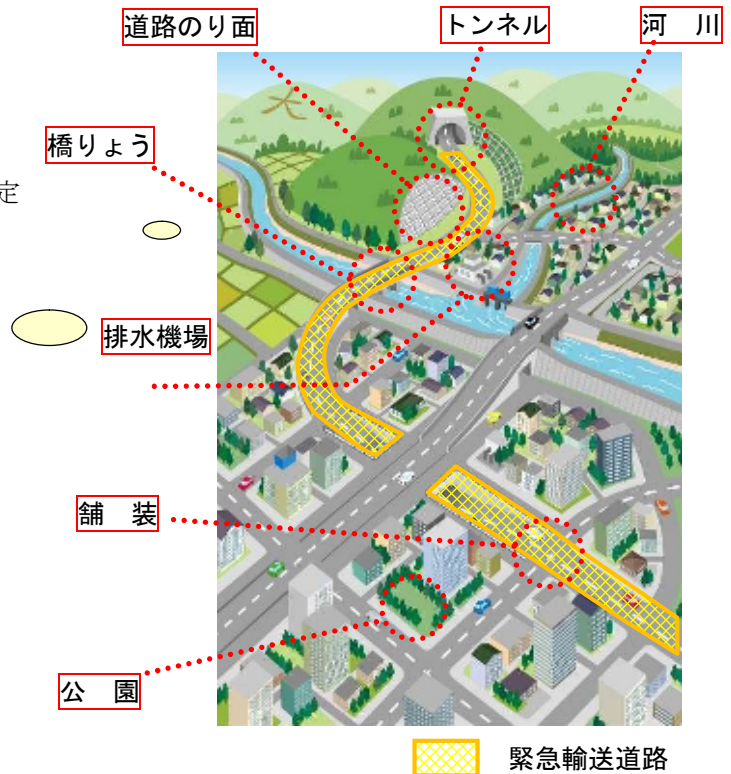
平成27年度 取組

- ・公共土木施設マネジメントの推進
- ・「排水機場長寿命化修繕計画」策定
- ・計画的な点検、診断、修繕、更新等により、効率的、効果的な維持管理が可能となる施設は計画を順次策定

平成26年度 実績

- ・「公共施設マネジメント基本計画」策定
- ・トンネル長寿命化修繕計画 策定

緊急輸送道路の構成、又は緊急輸送道路に隣接する公共土木施設の修繕・更新等を最優先で行うことにより、通行機能を効率的・効果的に確保する取組を推進します。



★ 道路・橋りょう・河川・公園などの適切な維持管理

所管：各土木事務所、各みどり管理事務所、土木管理課、橋りょう健全推進課、河川整備課、道路河川管理課、道路明示課、みどり政策推進室

平成27年度事業費
58億5,057万円

事業目的：公共土木施設を計画的に維持管理し、市民の安心・安全を確保します。

道路・橋りょう・河川・公園などの公共土木施設を適切に日常管理し、壊れる前に補修することで施設の寿命を延ばすとともに、計画的な維持補修に取り組めます。

京都市が管理する主な都市基盤施設

『道路』約 3,554 km	『橋りょう』約 2,900 橋	『トンネル』18 箇所
『河川』約 518 km	『公園』903 箇所	『排水機場』35 箇所

- ・スマートフォンなどを活用した市民協働による公共土木施設の維持管理
(公共土木施設の維持管理を市民協働により進める仕組みを組み立てるとともに、市民の方々が道路等の異常を発見した場合に簡単に通報できるアプリを開発する。)



- ・道路に面する斜面等の防災対策 (再掲)
- ・横断歩道橋撤去
(老朽化し、利用者数が少なく景観上も課題がある堀川高校前、成逸、宝ヶ池歩道橋の撤去)
- ・生活道路の舗装補修の充実
(舗装補修に係る予算を前年度から1億円増額し、未対策箇所の舗装補修を実施)
- ・橋りょうの耐震補強・老朽化修繕 (再掲)
- ・トンネルの長寿命化
(早期に修繕が必要な栗尾、宝池トンネルの工事、京北、二ノ瀬トンネルの定期点検)
- ・河川維持補修 浚渫・除草の充実
(対策が必要な54河川について、浚渫・除草等を実施)
- ・公園のブランコと照明灯の更新・改築
(地域住民が日常的に利用する公園施設(ブランコ、照明灯)の更新・改築)
- ・排水機場の耐震補強・老朽化修繕 (再掲)

河川維持補修 浚渫・除草 (有栖川)



常にまちの安全・安心に目を光らせる『土木事務所・みどり管理事務所』

- ・8つの土木事務所、2つのみどり管理事務所により道路、河川、公園などの公共土木施設をしっかりと維持管理しています。

・市民の皆様の要望をいただき、また、パトロールにより発見した道路の穴ぼこや、公園施設の傷みなどを、職員が迅速に修繕できる体制を整えており、ガードレールの設置など簡易な維持管理工事も直接実施しています。

・また、大雨の時など、24時間体制で警戒を行うとともに、土のうの配布や倒木の処理等、被害を最小限に抑えるよう市民の皆様とともに頑張ります。

・このほか、水道やガス管などを道路や公園に設置する際の許可や、不法に置かれている物に対し指導・撤去を行うなど、道路、河川、公園を適切に使うための業務も併せて行っています。

道路パトロールによる補修



○効率的かつ適切に施策を推進するための取組

組織改正による執行体制の充実

(1) 安心、安全、快適なまちづくりの実現に向けた自転車政策を推進する体制の整備

新たに策定した「京都・新自転車計画」に掲げる施策を総合的かつ一体的に推進するため、自転車の交通安全教育の開催やマナー啓発などの取組及び自転車走行環境整備に係る計画業務を自転車政策推進室へ移管し、体制を強化します。

(2) 市民の暮らしを守る河川整備体制の構築

河川の整備及び維持管理を、より効率的かつ効果的に実施し、更なる治水安全度の向上を図るため、各土木事務所で実施している日常の河川維持管理及び改修における統括機能を河川整備課へ移管し、体制を強化します。

適切な業務の執行に係る取組

建設局では、「コンプライアンス推進指針」のもと、法令遵守の意識を徹底し、創造的かつ主体的に業務を遂行することを、職員の一人ひとりの共通認識として実践し、組織文化として根付かせていくため、以下の取組を推進します。

(1) 建設局“きょうかん”推進委員会の活性化

コンプライアンスや職員倫理の向上に係る事項等について、建設局“きょうかん”推進委員会を中心に、迅速に情報の共有化を図り、着実に実践します。

(2) 不祥事を起こさない風通しのよい職場づくり

管理監督職員が、日頃から、職員一人ひとりとときめ細かいコミュニケーションを図ることで、風通しのよい職場づくりを進めるとともに、局の監察チームが、定期的に職場巡察を行うなど、適切な服務及び業務管理を徹底します。

(3) 建設局技術研修の充実

建設局技術研修において、技術力を高める研修に加えて、入札・契約制度や工事等の品質確保に関する研修を実施するなど、発注者として説明責任を十分に果たす能力やマネジメント能力などの向上に取り組み、公共事業の適切な執行の確保を図ります。

○予算のポイント

予算の特徴

- ・市民のいのちと暮らしを守るため、防災・減災対策事業、道路、河川、公園などの維持管理に係る予算をしっかりと確保し、適切な維持管理に努める一方、更に市民の皆様との協働による公共土木施設の維持管理を進めるため、新たにスマートフォンなどを活用した市民通報システムを構築し、運用を図ります。
- ・また、新たな自転車政策の取組、京都駅西部エリアに設置されるＪＲ嵯峨野線 京都・丹波口間新駅の周辺整備事業や「歩いて楽しい東大路」歩行空間創出事業など京都の魅力と都市格の向上、都市の持続的な成長に資する事業などに重点を置いた予算を確保しています。

重要取組・主な事業予算

建設局当初予算（一般会計）	3 5 3 億 7, 4 0 0 万円
・いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト	6 1 億 7, 4 7 4 万円
・道路維持補修等	4 6 億 8, 3 1 1 万円
・河川維持管理	6 億 3, 1 9 3 万円
・公園維持管理	1 0 億 4, 4 2 0 万円
・ＩＣＴを活用した市民協働による公共土木施設の維持管理	2, 3 8 0 万円
・京都・新自転車計画の推進	3, 7 0 0 万円
・ＪＲ嵯峨野線 京都・丹波口間新駅設置に伴う周辺整備	3, 0 0 0 万円
・「歩いて楽しい東大路」歩行空間創出事業	1, 0 5 0 万円

○建設局運営の総括表

重点方針	平成27年度 重点取組				
	取組名		目標	計画・条例等	所属等
重点方針1 いのちと暮らしを守る防災・減災対策の充実・強化	取組1 行機組 の確保 の通	★ 橋りょうの耐震補強・老朽化修繕	・耐震補強12橋（九条跨線橋、羽東師橋など） ・老朽化修繕13橋（二条大橋、菊屋橋など）	京都市地域防災計画、京都市の防災対策総点検、いのちを守る橋りょう健全化プログラム	橋りょう健全推進課、道路建設課、各土木事務所
		★ 道路に面する斜面等の防災対策	・国道162号（14箇所 測量設計、用地、工事） ・国道367号（5箇所 測量設計、用地、工事） ・上黒田貴船線他（6箇所 測量設計、工事）	京都市地域防災計画、京都市の防災対策総点検	土木管理事務所、各土木事務所
	取組2 浸水被害の予防対策の強化	★ 河川の整備	・都市基盤河川整備（旧安祥寺川、新川整備工事など） ・普通河川整備（宮川、杉坂川護岸工事） 「普通河川整備プログラム」による整備 ・護岸改修工事（竹田川） ・設計等（泉川、奥殿川、西ノ川、千代原川）	京都市地域防災計画、京都市の防災対策総点検、京都市水共生プラン、京都市河川整備方針、雨に強いまちづくり推進計画	河川整備課、各土木事務所
		★ 有栖川下流右岸流域の浸水対策事業	・台風時期である9月からの供用開始を目指して排水ポンプ施設を整備	京都市地域防災計画、京都市の防災対策総点検、京都市水共生プラン、京都市河川整備方針、雨に強いまちづくり推進計画	河川整備課
		★ 排水機場の耐震改修・老朽化修繕	・耐震改修（三橋排水機場） ・老朽化修繕（西羽東師排水機場ほか6排水機場） ・排水機場長寿命化修繕計画 策定	京都市地域防災計画、京都市の防災対策総点検、京都市水共生プラン、京都市河川整備方針、雨に強いまちづくり推進計画	河川整備課
		★ 排水機場集中監視システムの整備	・排水機場集中監視システムの整備	京都市地域防災計画、京都市の防災対策総点検、京都市水共生プラン、京都市河川整備方針、雨に強いまちづくり推進計画	河川整備課
重点方針2 「歩くまち・京都」を基軸とする都市基盤の強化とまちの魅力向上による京都の創生・成長戦略の推進	取組3 歩いて楽しいまちづくり	★ 人と公共交通優先の歩いて楽しい四条通の整備	・歩道拡幅工事の完了（平成27年10月末完成予定）	「歩くまち・京都」総合交通戦略	道路環境整備課
		★ 京都駅南口駅前広場の整備	・駅前広場整備工事（駅正面の拠点広場デッキなど） ・八条通道路工事（油小路通～竹田街道）	「歩くまち・京都」総合交通戦略	道路建設課
		★ 「歩いて楽しい東大路」歩行空間創出事案	・周辺道路への影響を検証する	「歩くまち・京都」総合交通戦略	建設企画課
		★ 歩いて楽しいまちなかゾーンの推進	・高辻通、河原町通、五条通、烏丸通に囲まれたゾーンの整備	京都・新自転車計画	道路環境整備課、自転車政策推進室
		★ 総合的な自転車政策の推進	・「京都・新自転車計画」に基づく施策の推進 ・市役所前広場における機械式地下駐輪場 完成 ・放置自転車に係る撤去強化区域の拡大（市街地のほとんどを撤去強化区域に）	京都・新自転車計画	自転車政策推進室
	取組4 京都ならではの魅力の向上	★ 岡崎公園・神宮道の一体的な整備（岡崎地域活性化ビジョンの推進）	・平成27年8月末完成に向け公園整備、道路整備を実施	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画	みどり政策推進室
		★ 名勝円山公園の保存管理計画と適正化事業	・名勝円山公園保存管理計画策定（策定のための委員会3回実施） ・円山公園内施設の実態調査	京都市緑の基本計画	みどり政策推進室
		★ 緑のネットワークの推進	・道路の森づくり ・花の道づくり ・桜景観創造プロジェクト ・ケヤキ並木保全・創造プロジェクト ・紅葉景観創造事業 ・市民公募型緑化推進事業	京都市緑の基本計画	みどり政策推進室
		★ 無電柱化の推進	・先斗町通の実施設設計、油小路通（小川通）の工事（継続） ・銀閣寺道の工事（継続）、長辻通の実施設設計 ・新たな方式による無電柱化事業の研究	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画	道路環境整備課
		★ 道路・公園照明灯のLED化事業	・公園照明灯 水銀灯及び蛍光灯約1,000灯 ・市街灯（蛍光灯）新設800灯、更新19,870灯 ・道路照明灯（水銀灯）新設50灯、更新9,000灯	京都市役所Co2削減率先実行計画	土木管理課、各土木事務所、みどり政策推進室、各みどり管理事務所
	取組5 都市の活力を高める都市基盤の整備	★ 幹線道路ネットワークの整備	・鴨川東岸線（第二工区）（橋りょう新設工事など） ・本町下高松通（高松橋架替え工事など） ・北泉通（用地買収など） ・京都広河原美山線（鞍馬北工区）（道路改良工事） ・一般国道162号（高雄地区）（道路改良工事など）	京都市地域防災計画、京都市の防災対策総点検、京都市緑の基本計画	道路建設課
		★ 公園の整備	・洛北第三地区4号公園（仮称）の新設工事 ・桃山東第二地区和泉ポンプ場公園（仮称）の測量、設計 ・本町公園再整備に係る測量、設計	京都市地域防災計画、京都市の防災対策総点検	みどり政策推進室
		★ JR嵯峨野線の新駅設置（京都駅西部エリア活性化将来構想）、JR奈良線高速化・複線化及び阪急京都線連続立体交差化の推進	・JR嵯峨野線 京都・丹波口間新駅設置に伴う周辺整備事業（調査、測量） ・JR奈良線 高速化・複線化第二期事業（JR西日本に補助金を交付、設計） ・阪急京都線連続立体交差化事業（下り線高架橋工事、鉄道高架化完了）	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画、第9次京都市交通安全計画	道路建設課、みどり政策推進室、建設企画課
		★ 土地区画整理事業の推進	・上烏羽南部地区（公共施設引継、出来形確認測量） ・伏見西部第三、第四、第五地区（移転補償、道路・水路工事等）	京都市地域防災計画、京都市の防災対策総点検	市街地整備課、整備推進課、南部区画整理事務所
重点方針3 市民協働の取組を通じた公共土木施設の効率的な維持管理の推進	取組6 効率的・効果的な公共土木施設のマネジメント	★ 公共土木施設マネジメントの推進	・公共土木施設マネジメントの推進 ・排水機場維持管理計画 策定 ・計画的な点検、診断、修繕、更新等により、効率的、効果的な維持管理が可能となる施設は計画を順次策定	京都市公共施設マネジメント基本方針	建設企画課、土木管理課、橋りょう健全推進課、河川整備課、道路河川管理課、みどり政策推進室
		★ 道路・橋りょう・河川・公園などの適切な維持管理	・スマートフォンなどを活用した市民協働による公共土木施設の維持管理 ・道路に面する斜面等の防災対策（再掲） ・横断歩道橋撤去 ・生活道路の舗装補修の充実 ・橋りょうの耐震補強・老朽化修繕（再掲） ・トンネルの長寿命化 ・河川維持補修 浚渫・除草の充実 ・公園のプランコと照明灯の更新・改築 ・排水機場の耐震補強・老朽化修繕（再掲）	京都市公共施設マネジメント基本方針	各土木事務所、各みどり管理事務所、土木管理課、橋りょう健全推進課、河川整備課、道路河川管理課、道路明示課、みどり政策推進室

建設局各課 お問い合わせ先

建設企画部		主な業務内容
建設総務課	222-3545	・庶務・労務・計理・服務
建設企画課	222-3551	・公共事業評価・国，京都府，京都府警等との調整・道路の新設，改良の調整，計画
監理検査課	222-3548	・土木積算の管理，運用・土木工事等の監理，検査
土木管理部		
土木管理課	222-3568	・土木事務所の調整・災害復旧・水防事務
橋りょう健全推進課	222-3561	・橋りょうの健全化の推進（耐震補強，老朽化修繕）
河川整備課	222-3591	・河川・排水路等の新設，改良，補修・都市基盤河川，準用河川の改修，排水機場の管理
道路河川管理課	222-3564	・道路及び里道の占用事務・看板等路上物件適正化事業・河川及び水路等の占用事務，
道路明示課	222-3566	・道路の区域明示及び境界明示・里道及び水路等の境界明示
北部土木事務所	492-3111	・道路，橋りょう，河川の維持及び管理並びに改修，私道整備の助成
左京土木事務所	791-9134	
東部土木事務所	591-0013	
南部土木事務所	691-3158	
西部土木事務所	871-6721	
京北・左京山間部土木事務所	852-1819	
西京土木事務所	392-9260	
伏見土木事務所	611-5371	
自転車政策推進室	222-3565	・総合的な自転車政策の推進，放置自転車対策・自転車等駐車場の整備，管理等・自転車に関する施策の連絡及び調整
道路建設部		
道路建設課	222-3577	・道路，街路，橋りょうの新設及び改良・鉄道立体交差化
道路環境整備課	222-3570	・無電柱化事業，道路のバリアフリー事業等
用地課	222-4096	・公共用地の取得及び補償金額の算定等
みどり政策推進室	741-8600	・公園・緑地の建設に係る連絡調整，調査，計画，設計，施行・街路樹の育成管理
北部みどり管理事務所	882-7019	・北区，上京区，左京区，中京区，右京区，西京区の公園の管理及び改良，維持補修
南部みどり管理事務所	643-5405	・東山区，山科区，下京区，南区，伏見区の公園の管理及び改良，維持補修
都市整備部		
市街地整備課	213-3537	・土地区画整理事業等に係る統轄，連絡調整・現況調査，計画決定事務
整備推進課	252-6871	・洛北第二，上鳥羽南部地区土地区画整理事業の実施
南部区画整理事務所	601-6181	・伏見西部第三，第四，第五地区土地区画整理事業の実施

平成27年度 建設局運営方針

平成27年4月

京都市建設局建設企画部建設企画課

<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu5/category/79-8-1-0-0-0-0-0-0-0.html>

